

## 精神保健係

### 1 精神医療対策事業

地域における精神保健福祉業務の中心的行政機関として、措置入院、医療保護入院等、その他関係業務の事務事務を行っています。

#### (1) 措置入院及び医療保護入院

措置入院についての申請・通報等の受理から入院の決定までの事務及び措置入院や医療保護入院についての届出、定期病状報告受付等の業務を行っています。

表 1 措置入院及び医療保護入院患者数 (平成 30 年度)

市町名	年度末措置入院患者数	年度新規措置入院患者数	医療保護入院届出数
糸島市	1	2	121(87)

入院届出数は管内精神病院の届出のうち糸島市在住者の数。( )数は管外保健所受付分

#### (2) 精神科救急医療システム

土・日・祝日の休日は 24 時間体制で、平日の夜間は毎日午後 5 時から翌日午前 9 時まで精神疾患のため救急医療を必要とする者に対し、迅速かつ適切な医療及び保護を行うために精神科救急医療システムが稼働しています。平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月までのシステム対応者は 1 人で、緊急措置入院者は 1 人でした。また、このシステムの円滑な運営を図ることを目的として開催される福岡ブロック関係機関連携会議に出席し、連携の強化を図っています。

#### (3) 精神病院の实地指導

精神保健福祉法に基づき、精神病床を有する病院が適正な管理運営を行い、精神障がい者の人権に配慮した適正な精神医療を確保することを目的に、管内 2 ヶ所の病院に対し毎年実施しています。

#### (4) 措置入院及び医療保護入院者の現地診察

措置入院者及び医療保護入院者等について、当該病院において知事が指定する現地診察医の直接診察に立ち会い、入院患者の病状を把握するとともに、入院継続の要否等についての確認を行っています。

#### (5) 自立支援医療及び精神保健福祉手帳

精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加の促進を図ることを目的として、通院医療費の一部を公費で負担し、また、手帳制度により一部優遇制度が提供されています。

障害者自立支援法が平成 18 年 4 月から施行され、自己負担が原則 1 割負担となりました。

平成 21 年 10 月、保健福祉環境事務所の再編に伴い、自立支援医療及び精神保健福祉手帳の進達業務は保健福祉事務所を経由することがなくなり、直接、市から県精神保健福祉センターに進達されることになりました。

表 2 自立支援医療受給者証(精神通院)及び精神保健福祉手帳所持者数

(平成 31 年 3 月 31 日現在 )

市町名	受給者証所持者数	手帳所持者数
糸島市	1473 人	697 人

2 社会復帰対策事業

(1) 精神障がい者社会適応訓練事業(職親制度)

平成 30 年度の事業利用者はありませんでした。当事者から就労について相談があった場合は、訓練の制度について説明を行っています。

(2) 精神障がい者家族会支援

糸島市精神障がい者家族会「いとしま会」に対して、総会を含め毎月第 3 月曜日の定例会に必要な応じて参加し、全家連等の情報提供、研修会の案内等、活動に対し助言や支援を行っています。

(3) 地域活動支援センター活動支援

精神障がい者を対象とした地域活動支援センター「いとしま工芸」に対して、運営やケースワーク等について相談時対応し、側面的支援を行っています。

3 こころの健康づくり推進事業

(1) 精神保健福祉相談事業

毎週水曜日(第 5 週を除く)に、精神科専門医による一般の精神保健福祉相談に認知症・アルコール相談・思春期相談も含めた相談窓口を開設しています。また、常時来所者への面接相談や電話による相談を行っています。

表 3 相談(面接、電話)及び訪問状況 (平成 30 年度)

市町村	定例外相談(面接・電話)及び訪問延べ件数	定例相談(実件数)
糸島市	476	15
その他	21	0
計	497	15

(2) 精神保健福祉研修(出前講座)

精神障がい者の社会復帰を促進し、心のバリアフリーをめざした当事者と共に暮らすまちづくりを進めるため、住民の希望する時間、場所に職員を派遣し、研修を実施しています。

表 4 出前講座実施状況

期 日	内 容	主な対象者	参加延数
平成 30 年 5 月 21 日(月)	あせらず・のんびり・ゆっくりと ～心の病 統合失調症～	家族会(いとしま会)	18 人
平成 30 年 5 月 24 日(木)	酒は百薬の長というけれど(アルコール依 存症予防)	前原南公民館講座 寿学級生	42 人

(3) 自殺対策事業

糸島市は自殺の年齢調整死亡率(男性)が全国、県より高い状況にあります。このことから、長期的視点で住民の心の健康の向上及び自殺率の低下を図ることを目的として、普及啓発事業や精神保健福祉部会の中で協議を行っています。

表 5-1 講演会実施状況

期 日	内 容	主な対象者	参加延数
平成 30 年 7 月 11 日 (水) 7 月 12 日 (木)	ゲートキーパー研修	糸島保健福祉事務所 職員	37 人
平成 30 年 7 月 19 日 (木)	こころの健康大切にしていますか?	二丈地区民生委員児童 委員	31 人
平成 30 年 7 月 26 日 (木)	こころの健康大切にしていますか?	松国いきいきサロン メンバー	7 人

表 5-2 その他（普及啓発）実施状況

期 日	内 容	場 所	配布数
平成 30 年 9 月 14 日 (金)	自殺予防のチラシ等を関係機関（13 機関）と共同で街頭配布	J R 筑前前原駅前	500
平成 31 年 3 月 14 日 (木)	自殺予防のチラシ等配架	元気くらぶ 九大伊都キャンパス	60
平成 31 年 3 月 26 日 (火)	自殺予防のチラシ等を関係機関（9 機関）と共同で街頭配布	イソスパーセンター志摩店他 3 店舗	440

(4) アルコール依存症対策事業

アルコール依存症者を適切に治療に結びつけ、回復に向けた支援体制強化を図るため、アルコール関連問題を抱える家族や自助グループ相談担当者等を対象に、アルコール依存症に関する知識や対応方法の普及啓発を行いました。

表 6 講演会等実施状況

期 日	内 容	主な対象者	参加者数
平成 30 年 10 月 1 日 (月)	アルコール依存症予防の取り組み	管内の地域精神保健に携わる 関係者	12 人
平成 31 年 1 月 24 日 (木)	講話「アルコールで悩むあなた・悩ま されているあなたへ～アルコール問題の正 しい知識と回復者からの話～」 講話「イネイブリングとクラフト ～支援者のコミュニケーションスキルト レーニング」 体験談「アルコール依存症回復者からの メッセージ」	アルコール関連問題に関心 のある住民、自助グループ相談 担当者等	34 人

(5) 飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例関連事業

1 回目の飲酒運転違反者を対象に、アルコール健康障害の予防・早期発見に資することを目的として、「知事が指定する方法による飲酒行動に関する指導」を実施しました。平成 30 年度は、6 件実施しました。

4 障害者の明るいくらし促進事業

(1) 在宅精神障がい者交流事業

精神障がい者の社会参加・社会復帰及び相互の親睦を図る目的で、交流会を開催しました。

平成 23 年度からは、糸島市の関係各機関が役割を分担し（実行委員会形式）、準備から運営まで協力して行いました。

表 7 開催状況

日時・場所	内 容	参 加 者	人数
(実行委員会) 平成 30 年 8 月 29 日(水)	交流会実施に向けた役割 分担及び準備、運営等の協 議	各関係機関の職員等	10 人
平成 30 年 9 月 26 日(水)			9 人
平成 30 年 10 月 17 日(水)			10 人
(交流会) 平成 30 年 10 月 30 日(火) 糸島市健康福祉 センター ふれあい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボッチャ</li> <li>・ カラオケ</li> <li>・ グループトーク</li> <li>・ ビンゴゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当事者（下記機関の利用者） 糸島市内精神科病院デイケア 木の実（障害者しごと支援センター） 合同会社ゆめいろ舎</li> <li>・ 家族会</li> <li>・ その他各関係機関の職員等</li> </ul>	85 人
(反省会) 平成 30 年 11 月 28 日(水)	実施後の反省点について 協議	各関係機関の職員等	8 人

(2) 定例ケース検討会

精神保健福祉に携わる管内実務担当者の相談対応の資質向上及びネットワークの強化を図るため、平成 27 年 11 月よりケース検討会として位置づけ、専門医の助言を得ながら毎月実施しています。平成 30 年度は、延べ 11 件(対象者実数 11 件)の検討を行いました。また、処遇困難事例については必要に応じて随時ケース会議等を実施しています。

(3) 糸島保健所運営協議会精神保健福祉部会

糸島市における精神保健福祉対策の円滑な推進を図るため、関係機関の連携強化を図り精神障がい者の QOL(生活の質)の向上及び社会復帰・社会参加を促進することを目的として開催します。

平成 30 年度は委員 13 人中、11 人の出席により平成 30 年 7 月 2 日に開催し、平成 29 年度精神保健福祉事業の報告並びに平成 30 年度精神保健福祉事業計画等について協議を行いました。

(4)精神障がい者社会復帰促進事業

医療、福祉、行政等の関係機関が連携して、精神障がい者やその家族に支援を行うことで、精神障がい者が地域で安心して生活できるようにすることを目的とし、平成 22 年度から実施しています。

ア 保健所に設置する協議会（精神保健福祉部会）

精神保健福祉部会において、精神障がい者社会復帰促進事業について協議を行いました。意見交換では、各委員から社会復帰に向けて、精神障がい者が抱える問題、課題について報告がありました。

表 8-1 日時、内容、出席委員数

回数	日時	内容	出席委員
1	平成 30 年 7 月 2 日 (月) 14:00~15:15	1. 糸島市の精神医療保健福祉の現状 2. 平成 29 年度報告及び平成 30 年度計画 3. 意見交換	11 人

イ 関係者会議

糸島市の自立支援協議会との連携、各事業所との連携強化、また、講演会等を通して精神障がい者への取り組み方、考え方を深める目的で関係者会議を開催しました。精神障がい者を地域で支える包括的なシステムづくりに向けて、今後も、関係者会議を行っていきます。

表 8-2 日時、内容、出席委員数

回数	日時	内容	出席委員数
1	平成 30 年 8 月 21 日 (火) 13:30~16:00	1. 今年度事業説明 2. 長期入院者の地域移行支援のケースの経過報告及び今後の支援策の検討 3. 意見交換	17 人
2	平成 30 年 10 月 9 日 (火) 13:30~16:00	1 糸島地域におけるグループホームの現状と課題について 1) 病院における現状と課題 2) グループホームの紹介と現状、課題について 2. 意見交換	23 人
3	平成 30 年 12 月 11 日 (火) 13:30~16:00	1. 講演「共に生きる地域社会づくり」 講師 岡崎義則 (社会福祉法人香月福祉会 理事長)	15 人
4	平成 31 年 2 月 12 日 (火) 13:30~16:00	1. 今年度事業のまとめと次年度の事業内容について 2. 意見交換	16 人
5	平成 31 年 3 月 7 日 (木) 15:00~17:00	1 講演①「発達障害と二次障害」 講師 うえむらメンタルクリニック診療所 院長 上村 敬一氏 講演②「発達障害の対応」 講師 うえむらメンタルクリニック診療所 保健師 金織 来多氏	25 人

ウ 小中学校普及啓発事業

小中学生から精神障がい者に対する正しい理解を深めることを目的に、精神障がい者と交流できる関係機関の窓口や「こころの健康」等の出前講座のチラシを作成し、教育委員会等に対し配布を行いました。ちらしを見ての反応は少ないが、今後も周知の方法等を検討し、継続して普及啓発事業を実施していきます。